

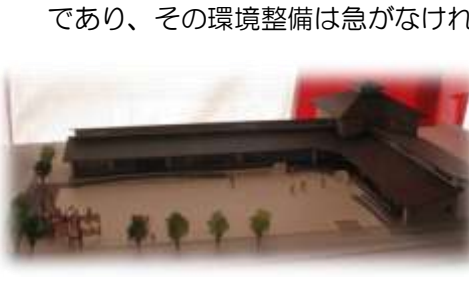
石巻市、気仙沼市の2つの保育所と障がい児施設の地鎮祭に参加しました

日本ユニセフ協会は、東日本大震災被災地支援の中の未就学児に対する支援の柱の一つとして、岩手、宮城、福島各県の自治体の要請を受け、保育所や幼稚園等の仮設園舎の建設や大規模修繕の支援を展開中です。

1月17日、石巻市の井内保育所と気仙沼の一景島保育所、マザーズホームの地鎮祭があり、建設の無事を祈りました。それぞれに亀山紘石巻市長、菅原茂気仙沼市長が参加されました。完成は5月末です。幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期。幼稚園や保育所は就学前の子どもにとって大切な教育を受けられる場であり、その環境整備は急がなければなりません。広々とした園舎で、のびのびと遊ぶことができる日が待ち遠しいです。子どもたちの元気な姿が大人たちをより一層元気にしてくれます。



石巻市の井内保育所地鎮祭



井内保育所の模型



ちをより一層元気にしてくれます。

「関上の街～ジオラマで再現」を見てきました

NPO 法人地球のステージ代表の桑山さん（医師）が、津波で被災した傷ついた心の回復をめざし、昨年10月から関上の子どもたちのジオラマ制作を指導しました。

「3月10日の僕たちの街」「3月11日の私たちの街」が出来上がっていました。これから「未来の私たちの街」が作られようとしています。すでに昨年12月には名取市役所で「震災前」ジオラマが展示されており、2月4日には美田園にオープンする「関上さいかい市場」や3月にはイオンモール名取で展示予定です。



「ユニセフのつどい」（2012年6月1日）では、「地球のステージ」ライブ公演を企画しています。「震災篇」「復興篇」「未来篇」など、乞うご期待！

2012年度の被災者支援は・・・

多くの方々から支援の継続が希望されておりましたが、被災された小学校中学校の新1年生に対して、「体育着」の支援を行います。小学1年生には6000円、中学1年生には7000円の補助を行います。詳細は各自治体の教育委員会や小中学校へお問い合わせください。

被災地に、子どもたちの図書館が戻ってきました

「名取市図書館どんぐり子ども図書室」が完成しました。日本ユニセフ協会は、名取市の要請を受け、子ども用図書閲覧室の建設を支援。1月6日、オープニングセレモニーが開催されました。佐々木一十郎市長は「多くの子どもたちが本に親しみ、自分の未来を考えるきっかけになることを希望しています」とご挨拶されました。木の香りがかぐわしい図書室になりました。



けになることを希望しています」とご挨拶されました。木の香りがかぐわしい図書室になりました。

『ネパール・スタディツアー』に参加します。 2012年2月18日出発、2月26日帰国。
2005年から北海道・東北の生協で支援しているネパール・サブタリ郡の視察に、みやぎ生協理事の千葉博恵さんと、ユニセフ・ボランティアの千葉きえ子さんが参加します。帰国後は、県内各地で「ネパールの現状」を報告し、皆さんの募金がどのように活かされているかお知らせします。

